
赤潮情報(定期赤潮調査結果)

鹿児島県水産技術開発センター
 平成30年6月6日

鹿児島湾 赤潮情報 No.5

[1] 6月5日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

有害種であるシャットネラ マリーナが通常検鏡により2ヶ所各1細胞/mL、濃縮検鏡により2ヶ所で最高0.005細胞/mL確認されました。

珪藻類は、湾奥で多く、湾央で少ない状況でした。

(2) 海況

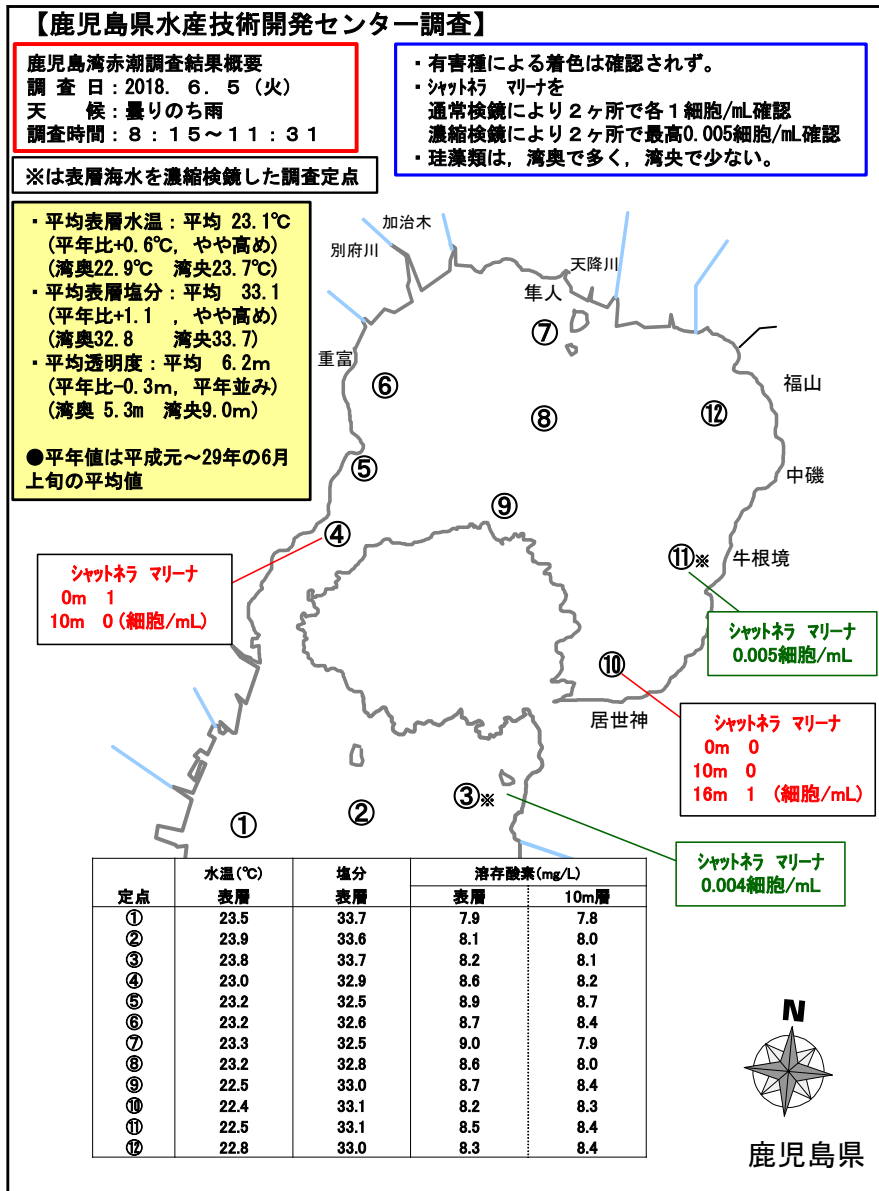
平年値と比べ、表層水温はやや高めで湾奥部で22.4~23.3℃、湾央部で23.5~23.9℃。塩分はやや高めで32.5~33.7、透明度は平年並みで4.5~10.0mとなっています。

水温：平均 23.1℃ 湾奥部 22.9℃ 湾央部 23.7℃

塩分：平均 33.1 湾奥部 32.8 湾央部 33.7

透明度：平均 6.2m 湾奥部 5.3m 湾央部 9.0m

(平年値は平成元年~29年の6月上旬の平均値)



[2] 今後の赤潮発生の予想

5日の調査では、競合種である珪藻類は湾奥では多いものの、湾央では少ない状況です。水温は平均23.1℃とシャットネラ マリーナの適水温に入り、今後の環境次第では増殖する可能性があります。

各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に検鏡等を継続し、十分な注意をお願いします。

(次回調査は6月下旬を予定)

赤潮情報(携帯用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(パソコン用) : <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>



鹿児島県